

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社免疫生物研究所

コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清藤 勉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理部長

(氏名) 中川 正人

TEL 0274-22-2889

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	381	△5.4	3	—	71	—	62	—
24年3月期第2四半期	403	△19.1	△48	—	△47	—	△57	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	100.93	—
24年3月期第2四半期	△93.70	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,328	—	2,155	—	—	92.6
24年3月期	2,289	—	2,092	—	—	91.4

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,155百万円 24年3月期 2,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,050	14.7	150	537.9	200	265.3	194	353.0	314.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	616,400 株	24年3月期	616,400 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	14 株	24年3月期	14 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	616,386 株	24年3月期2Q	616,386 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(販売の状況)	9

※ 当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成24年11月9日(金)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、復興需要等を背景に、景気回復の動きが続くと期待されましたが、欧州債務危機問題を巡る不確実性が依然として高いなかで世界景気減速の影響を受けており、また継続した円高と株価低迷の影響等から、国内景気は依然として先行き不透明感が強い足踏みの状況で推移しました。

当社が事業を営む業界については、後続新薬の長期処方解禁で市場全体が拡大して活況を呈しつつあるものの、医療費抑制策の強化に加え、2010年問題、研究開発リスクの増大など、経営環境は継続して厳しい状況にあります。

このような環境下、当社のセグメント別の売上高は以下のとおりとなりました。

・研究用関連事業

国内での研究用試薬の販売につきましては、平成24年5月1日よりタカラバイオ株式会社の独占販売となりました。また、海外の販売につきましても同社との連携を強化しております。

当第2四半期累計期間においての売上高は、自社独自の抗体製品及び測定キットにつきましては、順調に推移し前年同期を上回り、売上に貢献しております。一方、当社が創業より顧客毎のニーズに応え、製造・販売を行ってきた受託サービスにつきましては、契約関係や顧客要求事項の同社への引継ぎを完了し、既存顧客を中心に受注活動が漸く開始されてまいりました。しかしながら、引継ぎ期間における受注減の影響等により、本売上高は、前年同期を下回ることとなりました。その結果、研究用関連事業の売上高は、288,635千円（前年同期比6.3%減）となりました。

第3四半期以降につきましては、当社における新規市場であるアジア諸国を含めたタカラバイオ株式会社の海外子会社における本格的な販売活動が開始される見込みであります。また、受託サービスは、アカデミアを中心とする新規顧客の獲得を含め、本格的活動を両社協力のもと邁進していく所存であります。

・医薬用関連事業

体外診断用医薬品の販売において、ヒト体外診断用医薬品のタゴシッドTDMキット及び自社製造の牛海綿状脳症に対する動物用体外診断用医薬品の販売は、堅調に推移しておりますが、前期に販売が終了しております製品等の影響により、医薬用関連事業の売上高は80,349千円（同15.4%減）となりました。

・その他

遺伝子組換えカイコによるカイコの繭中に目的タンパク質を生成する生産技術により、自社抗体製品・動物用治療薬の原料及びヒトコラーゲン配合化粧品原料の開発・生産・販売を開始しております。その結果、当第2四半期累計期間においての売上高は12,380千円となりました。なお、当セグメントにつきましても前年同期の実績がありませんので、前年同期の対比は行っておりません。

当第2四半期累計期間における製造原価、販売費及び一般管理費につきましては、引き続き経費削減に努め、事業環境の変化に対応すべく効率の良い業務体制を強化しております。これらの結果、売上高は381,364千円（前年同期比5.4%減）、営業利益は3,234千円（前年同期は48,455千円の営業損失）となりました。

また、当第2四半期累計期間において、販売契約一時金の収入を計上し、経常利益は71,450千円（前年同期は47,358千円の経常損失）、四半期純利益は62,211千円（前年同期は57,756千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の変動について)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末比1.7%増の2,328,876千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

売上が前事業年度第4四半期会計期間の売上と比較して減少傾向にあること等により「受取手形及び売掛金」が125,590千円減少していること及び資産の売却及び減価償却等により有形固定資産が40,917千円、無形固定資産が10,082千円それぞれ減少したこと等の要因はありましたが、四半期純利益を計上したこと等により「現金及び預金」の残高が198,109千円増加したこと等の要因により資産の増加となりました。

(負債の変動について)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比11.9%減の173,078千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

長期借入金の返済により「長期借入金」（「1年内返済予定の長期借入金」を含む）が15,700千円減少したこと、経費発生の抑制等による未払債務の減少等による「その他（流動負債）」が16,627千円減少したこと等によるものであります。

(純資産の変動について)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比3.0%増の2,155,798千円となりました。これは主に四半期純利益の計上によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ198,109千円増加し、610,053千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は210,957千円（前年同期比179,907千円の増加）となりました。これは、前年同期においては税引前四半期純損失を計上しておりましたが、当期においては税引前四半期純利益68,644千円を計上したこと及び売上債権の回収が進んだこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は5,749千円（前年同期比4,540千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が前年同期より10,665千円減少したこと、当期において有形固定資産の売却による収入を10,601千円計上したことといった資金の増加要因がありましたが、一方、前年同期において計上のあった投資有価証券の償還25,000千円が当期においては計上していないこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は16,257千円（前第2四半期累計期間と同額）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済15,700千円等であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年5月15日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	444,050	642,160
受取手形及び売掛金	272,871	147,281
商品及び製品	64,826	73,283
仕掛品	122,156	128,680
原材料及び貯蔵品	64,741	67,105
その他	6,526	5,470
流動資産合計	975,173	1,063,982
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	563,262	533,707
土地	362,687	362,687
その他(純額)	86,297	74,935
有形固定資産合計	1,012,247	971,330
無形固定資産	60,858	50,776
投資その他の資産		
投資有価証券	187,068	187,686
その他	53,989	55,101
投資その他の資産合計	241,058	242,787
固定資産合計	1,314,164	1,264,894
資産合計	2,289,338	2,328,876
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,235	24,482
1年内返済予定の長期借入金	31,400	26,400
未払法人税等	5,277	9,269
賞与引当金	12,448	12,895
その他	71,517	54,890
流動負債合計	140,878	127,937
固定負債		
長期借入金	54,600	43,900
退職給付引当金	798	1,241
その他	92	—
固定負債合計	55,491	45,141
負債合計	196,369	173,078

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571,810	1,571,810
資本剰余金	491,753	491,753
利益剰余金	42,828	105,039
自己株式	△16	△16
株主資本合計	2,106,375	2,168,587
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,406	△12,789
評価・換算差額等合計	△13,406	△12,789
純資産合計	2,092,968	2,155,798
負債純資産合計	2,289,338	2,328,876

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	403,105	381,364
売上原価	166,595	148,726
売上総利益	236,510	232,638
販売費及び一般管理費	284,966	229,404
営業利益又は営業損失(△)	△48,455	3,234
営業外収益		
受取利息	243	97
販売契約一時金	—	70,000
その他	3,892	2,149
営業外収益合計	4,136	72,247
営業外費用		
支払利息	885	622
為替差損	1,848	3,152
その他	303	257
営業外費用合計	3,038	4,031
経常利益又は経常損失(△)	△47,358	71,450
特別損失		
減損損失	9,151	—
固定資産売却損	—	2,398
その他	—	408
特別損失合計	9,151	2,806
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△56,509	68,644
法人税、住民税及び事業税	1,247	6,432
法人税等合計	1,247	6,432
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△57,756	62,211

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△56,509	68,644
減価償却費	49,480	42,483
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△56	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	447
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	140	442
受取利息及び受取配当金	△243	△97
支払利息	885	622
為替差損益 (△は益)	946	2,339
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	2,398
減損損失	9,151	—
売上債権の増減額 (△は増加)	43,466	125,590
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△34,729	△17,345
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,739	4,246
その他	14,150	△15,332
小計	35,414	214,439
利息及び配当金の受取額	249	92
利息の支払額	△856	△596
法人税等の支払額	△3,831	△3,022
法人税等の還付額	72	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,049	210,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△3,000	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△14,515	△3,850
無形固定資産の取得による支出	△119	—
有形固定資産の売却による収入	—	10,601
投資有価証券の償還による収入	25,000	—
貸付金の回収による収入	1,998	1,998
その他	927	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,290	5,749
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△15,700	△15,700
その他	△557	△557
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,257	△16,257
現金及び現金同等物に係る換算差額	△946	△2,339
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	24,135	198,109
現金及び現金同等物の期首残高	321,684	411,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	345,820	610,053

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(販売の状況)

当第2四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
研究用関連事業	288,635	△6.3
研究用試薬関連	287,641	△1.9
抗体関連試薬販売	190,924	33.8
その他の試薬販売	30,964	△42.2
試薬関連受託サービス	65,752	△32.1
実験動物関連	994	△93.3
疾患モデル動物販売	—	△100.0
疾患モデル動物関連受託サービス	30	66.7
飼育・保管等サービス	964	△90.6
医薬用関連事業	80,349	△15.4
医薬シーズライセンス	200	△48.1
体外診断用医薬品販売	80,149	△15.3
その他	12,380	—
合計	381,364	△5.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。